

## 第5回アフリカ開発会議関連の日程等について

### 1 第5回アフリカ開発会議横浜開催の意義

- (1) MICE 拠点都市の推進 ○ 安全・円滑な会議開催のための支援  
○ 会議開催を通じた、横浜の知名度向上
- (2) 市内経済への波及効果 ○ 市内事業者にとってメリットとなる  
会議開催支援
- (3) 市民の多文化理解、国際貢献 ○ 市民、特に若い世代の多文化理解の促進  
○ 横浜市としての国際貢献の推進

### 2 第4回アフリカ開発会議の振り返り

- (1) 成果 ○ 大型国際コンベンションの開催支援能力の高さを国内外に示し、  
APECや第5回会議の誘致成功につながった。  
○ 一校一国運動は子どもたちがアフリカを肌で感じるきっかけと  
なったほか、アフリカン・フェスタが横浜で開催されるようになり、  
多くの市民の皆様にあフリカの多様な文化に親しんでいただく  
機会が増えた。
- (2) 課題 ○ 関連行事等の一部で本市と外務省との役割分担が不明瞭だった。

### 3 今回の本市の主な取組

取組	実施期間	取組内容	備考
ともに成長する			
(1) 一校一国運動	H24.10 ～H25.3	○市立小中学校 69 校が参加	中学校 10 校は <b>新規</b> 前回実績： 市立小学校 55 校
(2) 「レッドカップ for アフリカ」 キャンペーン	H25.4.1 ～5.31	○キャンペーン参加店舗での買物や 食事、募金により、アフリカでの 学校給食支援を応援 ○42 事業者が参加	前回実績： 「アフリカのハラ ペコを救え。」 キャンペーンに 18 事業者が参加
(3) 技術協力	H24.4 ～H25.3	動物飼育、港湾、水道、緑地保全の 分野での ○研修員受入 (H24 年度 28 か国 51 人) ○職員派遣 (H24 年度 2 か国 7 人)	
(4) ビジネスセミナー	H24.6.6 ～H25.5.31	○市内企業にアフリカのビジネス環境 を知る機会等を提供 (H25.2月までで計6回約450人)	<b>新規</b>
(5) アフリカン・ フェア 2013 への ブース出展	H25.5.30 ～6.2	○市内企業 12 社の優れた製品、技術 等を紹介し、アフリカ各国とのビ ジネスの契機とする ○合わせて本市の技術協力も紹介	ブース出展は <b>新規</b>
(6) シンポジウム 「女性の活躍と 経済成長」	H25.5.31	○アフリカで2人目の女性元首で あるジョイス・バンダ マラウイ 共和国大統領をお招きするほか、 アフリカの女性起業家を交えたパ ネルディスカッションを実施	<b>新規</b>

取組	実施期間	取組内容	備考
身近に感じる			
(1) 横浜アフリカ月間	H25.5.3 ～6.9	○市内各所でアフリカを身近に感じる45イベント開催	民間事業者による事業の誘発・連携
(2) アフリカン・フェスタ 2013	H25.5.11 ～5.12	○一校一国運動の成果発表他 ○来場者約15万人	第4回会議以降、横浜で開催
(3) 一駅一国運動	H25.4.27 ～6.9	○横浜市営地下鉄全40駅での各国紹介及びスタンプラリー実施 ○特別電車「アフリカ号」運行など	スタンプラリーは新規
おもてなしする			
(1) ボランティアによるおもてなし	H25.5.31 ～6.4	○活動人数約90人	前回：約60人
(2) アフリカ関係者の来浜	H24.2～	○延べ約150人	

#### 4 会期前後の主な日程

		本市関連日程	TICAD V 議事日程 (外務省より情報提供)
5/30(木)		◆アフリカン・フェア 2013 (経済産業省、ジェトロ主催) への出展 (～6/2)	
5/31(金)	午前	◆シンポジウム「アフリカ・ビジネスの新潮流」	◆閣僚級事前会合
	昼	◆議場演説 (調整中)	
	午後	◆議場演説者との昼食会 (議長主催) (調整中) ◆シンポジウム「女性の活躍と経済成長」	
	夜	◆総理・横浜市長共催歓迎レセプション	
6/1(土)	午前		◆開会式 ◆全体会合
	昼	◆野口賞受賞者との昼食会 (市長主催)	
	午後	◆第2回野口英世アフリカ賞受賞者歓迎式典 (於：金沢区・長浜ホール) ◆配偶者プログラム(外務省主催)への協力	◆全体会合
	夜		◆野口英世アフリカ賞授賞式記念総理主催晩餐会
6/2(日)	午前	◆配偶者プログラム(外務省主催)への協力	◆テーマ別会合
	午後		◆全体会合
	夜		◆TICAD 公式首脳晩餐会
6/3(月)	午前		◆全体会合 ◆閉会式 ◆共同記者会見

注) 日程については、今後変更の可能性がります。

## 第5回アフリカ開発会議について

### アフリカ開発会議とは

アフリカ開発会議(TICAD)は、日本政府が国連、国連開発計画(UNDP)、世界銀行、アフリカ連合委員会(AUC)と共催するアフリカの開発をテーマとする国際会議です。平成5年の第1回会議から5年ごとに開催され、初めて横浜で開催された第4回会議(平成20年)には、アフリカの41名の国家元首・首脳級を含む51か国や、34か国のアジア・欧米諸国、74の国際機関等の代表、民間セクターやNGO等市民社会の代表等3,000名以上が参加した大規模なものとなりました。  
第5回アフリカ開発会議は、平成25年6月1日(土)から3日(月)まで横浜で開催されます。

### 横浜開催の意義

#### MICE拠点都市の推進

- ・安全・円滑な会議開催のための支援
- ・会議開催を通じた、横浜の国際的知名度の向上

#### 市内経済への波及効果

- ・市内事業者にとってメリットとなる会議開催支援

#### 市民の多文化理解、国際貢献

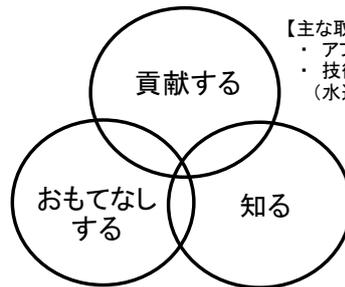
- ・市民、特に若い世代の多文化理解の促進
- ・横浜市としての国際貢献の推進

### 取組の3つの柱

#### 第4回アフリカ開発会議 (TICAD IV)

平成20年5月28日(水)~30日(金)

- 【主な取組】
- ・市民ボランティアによる案内
  - ・視察プログラム



- 【主な取組】
- ・アフリカ支援キャンペーン
  - ・技術協力  
(水道、動物飼育繁殖、港湾)

- 【主な取組】
- ・アフリカ月間
  - ・一校一国運動
  - ・一駅一国運動

- 【成果】
- ・横浜とアフリカとの交流の深まりと継続
  - ・大型国際コンベンション開催支援能力の国内外へのアピール

開催都市横浜としての取組テーマ

**アフリカ、ともに成長するパートナーへ。**

#### 第5回アフリカ開発会議 (TICAD V)

平成25年6月1日(土)~3日(月)

- 【TICAD Vにおける新たな取組】
- ◎従来のアフリカへの技術協力などの貢献活動を一歩進め、**ともに成長する**関係を築くことを目指します。
  - セミナーの開催等を通じて新たなビジネス機会を提供します。
  - 女性の社会進出など、より良い社会について考える機会を設けます。

市民がアフリカを一層**身近に感じる**よう、広報・イベント・学校教育などを通じて、市民の関心・理解を深めます。

市民力を活用したボランティアによる会議運営の支援など、市をあげて会議関係者を**おもてなし**します。

**ともに成長する**

**身近に感じる**

**おもてなしする**

- 【主な取組】
- ・アフリカン・フェア2013への横浜市ブース出展
  - ・シンポジウム「女性の活躍と経済成長」
  - ・一校一国運動
  - ・アフリカ応援キャンペーン

- ・横浜アフリカ月間
- ・一駅一国運動
- ・市営地下鉄「アフリカ号」運行

- ・市民ボランティアによる案内
- ・観光・視察プログラム
- ・横浜PRキット